

世界自然遺産登録5周年
国立公園指定10周年記念

奄美・沖縄
子ども交流事業

子ども新聞

学び、深めた郷土愛

特別号



ピナイサーラの滝
ツアー



野生生物保護センターでの
環境学習



祖納集落 豊年祭へ参加



西表島小中学生との交流会



ナイトツアーで
夜の生き物観察



水牛車に乗り由布島へ

令和8年7月28日から31日までの4日間、奄美群島の中学生12名が西表島を訪れ、交流事業を実施しました。野生生物保護センターでの環境学習をはじめ、ピナイサーラの滝ツアーやナイトツアーなど、豊かな自然を体感するさまざまなエコツアーを体験。また、西表島の小中学生との交流会では、一緒に活動しながら交流を深めました。

奄美群島の中学生は、研修前に自分が住んでいる島と西表島の違いについて事前に学び、研修に臨みました。実際に西表島を訪れると、自然や文化の中に「違い」だけでなく、島同士の「共通点」もたくさん見つかりました。見て、聞いて、触れて、話して——。4日間の体験を通して、子どもたちは西表島の魅力を発見するとともに、自分たちが暮らす島の魅力も改めて見つめ直しました。

「人間と共に生きる生物たち」

与論町立与論中学校
2年 本畑 蒼太

① 心に残ったこと

研修2日目の野生生物保護センターでのスタッフさんのお話で、西表島に
いる固有種を減らさないように、アンダーパスや、速度制限などの取り組みを
していると聞いて、世界自然遺産に登録されたきっかけでもあっただろう
西表島の固有種を守ろうという島全体の思いが伝わってきました。私は
島全体で生き物たちを守るように協力し合っていることがとてもすごいこと
だと思いました。

② 学んだこと・気づいたこと

初めて知ったことや気づいたことは、祖納集落での豊年祭で、自分の島とは
全く違う、みんなが主催者のような感じで声を出したりしていたことが驚き
ました。与論島での祭りは、観光客がメインのような祭りですが、祖納集落の
豊年祭は地元の人が中心で屋台もなくひたすら動いて楽しむような感じで
とても新鮮で楽しかったです。

三線などを弾くのは与論島と似ていたけど、声の質が違く、沖縄でもないよ
うな声をしていて驚きました。

自然では、島全体で固有種を守るための速度制限などの取り組みをしていて
約1年間イリオモテヤマネコの事故が起きてなくて、島全体での意識の違いに
気づけました。

③ 自分の成長につながったこと

研修前は、生き物のロードキル問題などは、運転する人だけが問題に関わっ
ていると思っていましたが、研修後からは、ロードキルが起らないように
アンダーパスの設置や防止柵を設置したりと運転手以外のところからもこ
の問題に関わりがあることがわかりました。このことを知って、私は、島全
体の関わりがあり、私たち一人ひとりにも問題とかかわっているという考
えになりました。他人事ととらえずに自分にも関係があるという考えをもっ
て問題を解決するために自分ができることを行動していきたいです。

④ これから、自分にできること

この研修で島全体で問題に関わりあうという取り組み方を学びました。
島全体で問題に関わるということをヒントに私は、島で起きている海ごみ
の問題を解決するために、海に設置されている海のごみ箱という海ごみだ
けを捨てる箱にごみを見つけたら必ず捨てるようにし、周りにいる人に影響
を出せたら島全体の人達で海のごみ問題に関われるのではないかと思います。

